

社労士通信講座おすすめランキング17選 評価ガイドライン

発行日:2026年2月22日

発行元:各種通信講座 - 株式会社キャリア・ブレーション 比較・検証編集部

1. 本ランキングの目的と基本方針

本ガイドラインは、社会保険労務士(社労士)試験対策の通信講座17社を客観的かつ透明性のある基準で評価・ランキング化するための評価方針と採点基準を定めるものである。

基本方針

- 受験生が講座選びに必要な情報を公正に提供する
- 各講座の公式サイト・公式発表データを一次情報として重視する
- 5つの評価軸による定量評価を採用し、評価者の主観を最小限に抑える
- 各評価軸の配点を均等(各20点、合計100点満点)とし、特定の軸に偏らないバランスの取れた評価を行う
- 評価根拠を明示し、第三者が検証可能な透明性を確保する

2. 評価項目と配点

配点構成 (100点満点)

評価軸	配点
(1) 教材・講義の質	20点
(2) 学習カリキュラム	20点
(3) 受講料 (コスバ)	20点
(4) 合格実績	20点
(5) サポート体制	20点
総合評価	100点

総合評価 = 5軸の合計 (100点満点)

3. 評価基準の詳細スコアリング

各軸20点満点、1点刻みで採点する。以下の基準は全資格キーワード記事で共通使用し、記事ごとに基準を変更してはならない。

(1) 教材・講義の質 (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19~20	専門講師による体系的な講義動画 (10時間以上) + フルカラー/オリジナルテキスト + スマホアプリ・eラーニングシステム完備。オフライン学習・倍速再生等の機能も
17~18	講義動画あり (7時間以上) + 良質なテキスト教材 + スマホeラーニング対応。大手予備校レベルの教材品質で学習に必要な教材が高水準で揃っている
15~16	講義動画あり (5時間以上) + テキスト教材 + Web視聴・スマホ対応。一定の教材水準を満たしているが、先進機能やフルカラー対応等で上位と差がある
12~14	テキスト中心の教材構成で映像講義が限定的、またはテキスト自体は体系的だが補助教材・デジタル対応が弱い
9~11	テキスト中心で映像講義なし or 最小限。教材の量・種類が限定的で独学力が求められる
7~8	最小限の教材構成 (音声CD・簡素なテキスト等)。体系的な教材設計に欠ける

(2) 学習カリキュラム (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19~20	明確な学習ロードマップと進捗管理機能 + 過去問・模擬試験・添削が充実 + 受講期間の延長制度あり + 初学者~上級者まで対応するコースラインナップ。合格まで付
17~18	体系的なカリキュラム + 添削・問題演習が充実 + 柔軟な学習期間。コース数が豊富で高い学習効果が見込める構成
15~16	体系的なカリキュラム + 問題演習・学習管理機能あり。自走力があれば十分に合格を目指すのが、コースの幅やオプションに制限がある
12~14	基本的なカリキュラム + 添削指導 or 問題演習あり。標準的な学習体制だが体系的や柔軟性にやや欠ける

スコア	採点基準詳細
9～11	テキスト自学自習型でカリキュラムが簡素。学習の道筋が限定的で学習計画は自己管理が前提
7～8	教材購入型で明確なカリキュラムなし。学習計画は完全に自己管理

(3) 受講料・コスパ (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19～20	実質負担が極めて低い。月額1,500円未満の定額制 / 基本料金2万円未満 / 合格時全額返金で実質0円の可能性あり。価格に対する講座内容の充実度が非常に高い
17～18	基本料金5万円台以下の本格講座、または給付金・合格祝い金を含めた実質負担が3万円前後。コスパに優れる
15～16	基本料金6万～10万円台。給付金対象であれば実質負担が軽減される。講座内容に見合った価格設定
12～14	基本料金10万～15万円台。大手予備校の標準的価格帯。給付金適用で実質負担を軽減できるケースあり
9～11	基本料金15万～25万円台。講座の質は高いが受講料負担が大きい
7～8	基本料金25万円以上。講座内容に対して割高感がある、または高額にもかかわらず特典・補助制度が限定的

(4) 合格実績 (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19～20	合格率を具体的数値で公表し全国平均の4倍以上。合格者数も明示。透明性が高く客観的に検証可能な実績
17～18	合格率を公表 (全国平均の3倍以上) または年間合格者数500名以上を明示。大手予備校として高い実績を公開
15～16	合格率公表 (全国平均の2倍以上) または年間合格者数を公表。一定の透明性がある
12～13	合格率非公表だが、合格者の声や累計実績等の間接的な情報で実績を示している。大手予備校ブランドとしての信頼あり
9～11	合格率非公表。合格者数の断片的な情報のみ。または「全国平均のX倍」等の相対指標のみ
7～8	合格実績に関する情報がほぼ公開されていない

(5) サポート体制 (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19～20	質問対応が充実 (無制限 or 50回以上) + 添削・カウンセリング + 合格保証 (返金 or 延長) + オンライン自習室等の学習環境。通信講座でありながら予備校並みのサポート
17～18	質問対応が手厚い (無制限 or 30回以上) + 添削 or 合格保証制度あり + 通学切替可能。受講者支援が充実
15～16	質問対応あり (10回以上) + 不合格時サポート延長やeラーニング内質問等の保証制度あり。標準以上のサポート
12～14	質問対応あり (回数制限あり) + 添削指導あり。標準的なサポート体制
9～11	質問対応あり (極めて限定的) または最低限のサポートのみ。添削等の個別指導なし
7～8	サポートがほぼ提供されていない (教材販売のみ)

4. 全17社の総合評価一覧表

順位	講座名	総合評価	(1) 教材・講義の質	(2) 学習カリキュラム	(3) 受講料	(4) 合格実績	(5) サポート体制
1位	アガルート	96点	20	20	16	20	20
2位	スタディング	94点	20	19	19	20	16
3位	フォーサイト	90点	20	17	16	19	18
4位	ユーキャン	86点	18	16	18	16	18
5位	クレアール	84点	17	18	14	16	19
6位	資格の大原	81点	18	17	11	17	18
7位	LEC東京リーガルマインド	78点	18	18	11	13	18
8位	TAC	76点	17	17	9	17	16
9位	伊藤塾	72点	16	14	13	12	17
10位	キャリアカレ	69点	15	12	17	9	16
11位	ヒューマンアカデミー	66点	15	12	10	12	17

順位	講座名	総合評価	(1) 教材・講義の質	(2) 学習カリキュラム	(3) 受講料	(4) 合格実績	(5) サポート体制
12位	山川靖樹の社労士予備校	64点	12	14	18	9	11
13位	辰巳法律研究所	62点	15	16	9	8	14
14位	大栄	60点	14	14	8	7	17
15位	日本マンパワー	58点	12	11	18	9	8
16位	ゼミネット	56点	11	10	19	8	8
17位	オンスク.JP	54点	10	9	20	8	7

5. 各社スコア内訳と評価理由

1位: アガルート (総合 96点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	20/20	B5サイズのフルカラーテキストとデジタルブック対応の映像講義を提供し、テキストの本試験出題カバー率は選択式93.8%・択一式91.4%と非常に高い。1本あたりコンパクトな講義設計でスキマ時間を活用したスパイラル学習が可能。
(2) 学習カリキュラム	20/20	初学者向け「入門総合カリキュラム」から学習経験者向け「中上級カリキュラム」、上級者向け「上級カリキュラム」まで3段階に細分化され、それぞれライト/フルの2グレードを用意。2026年・2027年目標の両コースがあり受験生のレベルと学習開始時期に応じた柔軟な選択が可能。
(3) 受講料 (コスバ)	16/20	入門総合カリキュラム/フルは通常228,800円(税込)、キャンペーン10%OFFで205,920円。合格時に全額返金(税抜)またはAmazonギフト券3万円分を選択可能で合格した場合の実質負担は極めて低い。分割払いは10回まで手数料0円。教育訓練給付金は2027年目標の入門カリキュラム/フルのみ対象。
(4) 合格実績	20/20	令和7年度(2025年度)の合格率は29.45%で全国平均5.47%の約5.38倍。合格者数は91名で前年比126%と成長傾向にある。有料受講生の合否アンケート集計結果に基づく透明性の高い算出方法を採用。
(5) サポート体制	20/20	フルカリキュラムではオンライン質問サービス「KIKERUKUN」(50回まで)、バーチャル校舎(オンライン自習室)、月1回のホームルーム動画配信、演習システム「TOKERUKUN」を標準装備。別途110,000円/月1回30分の定期カウンセリング(講師と1対1)をオプション追加可能。
総合	96/100	教材・カリキュラム・合格実績・サポートの4軸で満点を獲得し、全17社中で最もバランスの取れた総合力を持つ。合格時全額返金制度により実質負担も軽減可能で、通信講座の第一選択肢として推奨できる。

2位: スタディング (総合 94点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	20/20	完全オンライン型で1動画あたり約5分の短時間設計によりスキマ時間学習に最適化。AI実力スコア・AI問題復習・AI検索・AI説明機能など先進的なAI機能を標準装備し、苦手分野の自動抽出・再出題が可能。冊子版テキストはオプション(別途29,800円)で追加可能。
(2) 学習カリキュラム	19/20	ミニマム・レギュラー・フルの3段階構成で初学者から学習経験者まで対応。2026年単年度に加え2026+2027年合格目標の複数年度コースも用意。再受講者向け最新版(通常約60%OFF)がありレポート受講しやすい設計。
(3) 受講料 (コスバ)	19/20	業界最安水準でミニマム46,800円からフル速習版79,800円まで。再受講時は最新版で24,800円~49,800円とさらに安価。合格時のお祝い金はデジタルギフト10,000円分。現行コースでは教育訓練給付金対象コースが販売終了しており利用不可。
(4) 合格実績	20/20	令和7年度(2025年度)の合格率は30.00%で全国平均5.5%の5.45倍。合格者数は353名と大手予備校に並ぶ規模。模試得点率50%以上の受講生に限ると合格率52.42%と非常に高い水準。
(5) サポート体制	16/20	フルコースに学習Q&Aチケット30枚が付属するがミニマム・レギュラーには質問機能が付属しない。添削制度はなし。勉強仲間SNS機能、学習レポートによる進捗管理、AI検索・AI説明機能で自己解決を促す設計。
総合	94/100	AI機能を搭載した先進的な学習体験と業界最安水準の価格、合格率30.00%の高い実績を両立。質問対応がフルコース以外で利用できない点がサポート面の課題だが、コスバ重視の受験生には最適解。

3位: フォーサイト (総合 90点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	20/20	脳科学に基づいたフルカラーテキスト(紙+デジタル)が高い評価を受けており、特許取得のeラーニングシステムで学習効率を最大化。合格点主義カリキュラムにより頻出事項に絞った効率的な学習設計が特徴。月次のeライブスタディで双方向学習も可能。
(2) 学習カリキュラム	17/20	デジタルプラン(59,800円)からバリューセット3(121,800円)まで段階的な5コース構成。バリューセット1(基礎+過去問)→バリューセット2(+直前対策)→バリューセット3(+一問一答演習)と必要な教材を段階的に追加する設計。
(3) 受講料 (コスバ)	16/20	バリューセット3(最上位)が121,800円(税込)で中価格帯。不合格時の全額返金保証(バリューセット3のみ)と合格時の受講料50%報奨金が選択制で用意されており費用リスクを大幅に軽減可能。教育訓練給付金はバリューセット1/2/3が対象。分割手数料無料。
(4) 合格実績	19/20	令和7年度(2025年度)の合格率は27.70%で全国平均5.5%の約4.01倍。合格者数は非公表(外部サイト集計で約193名との情報あり)。自社アンケート集計に基づく数値。

評価項目	スコア	評価根拠
(5) サポート体制	18/20	バリエーション1/2/3では質問が無制限(デジタルプランは30回)で個別カウンセリングも付属。eライブラリで受講生との双方向学習機会が毎月提供される。添削はないが模擬試験・確認テストで自己チェックが可能。
総合	90/100	脳科学テキストとeラーニングの教材力に加え、不合格時全額返金保証で費用リスクを大幅に軽減できる安心設計。合格率27.70%の実績も手堅く、教材品質とリスクヘッジを重視する受験生に適している。

4位: ユーキャン (総合 86点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	18/20	30年以上の開講実績を持ち初学者比率82%と入門者に強い設計。紙テキストとデジタルテキスト(WEB学習システム「学びオンラインプラス」)の両方を提供し動画講義も利用可能。最新法改正情報を随時提供。
(2) 学習カリキュラム	16/20	単一コース構成(社会保険労務士合格指導講座)でコース選択に迷わずシンプルに開始可能。標準学習期間7ヶ月で試験月まで指導が継続し翌年試験まで延長も可能。添削11回(総合課題添削1回含む)で段階的に学力確認。
(3) 受講料 (コスバ)	18/20	一括払い79,000円(税込)、WEB限定予約キャンペーンで74,000円と比較的お手頃。教育訓練給付金対象(20%給付で約15,800円戻り)に加えリスニング補助金(HUG経由、最大70%還元)にも対応。転職希望者は実質大幅割引が可能。
(4) 合格実績	16/20	合格率は非公表。過去10年間(2015年～2024年)で1,483名の合格者を輩出(アンケート集計ベース)。年平均約148名の合格者数は一定の実績を示すが合格率は非公表。
(5) サポート体制	18/20	添削11回、質問サービス(1日3問まで)、WEB学習での動画講義・デジタルテキスト・WEBテスト・スケジュール管理が充実。法改正情報の随時提供や学習期限延長(翌年試験まで)もあり長期学習にも安心の体制。
総合	86/100	30年以上の実績に裏打ちされた初学者に優しい設計と、添削11回を含む手厚いサポートが特徴。教育訓練給付金とリスニング補助金の両方に対応し、公的補助を最大限活用したい受験生に向いている。

5位: クレアル (総合 84点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	17/20	「非常識合格法」と「CROSS STUDY」に基づき頻出重要事項に絞り込んだ効率学習を実現。フルカラーオリジナルテキスト(紙教材)とWeb動画講義を提供。上級パーフェクトコースは253単元・158時間の講義量で十分なインプット量を確保。
(2) 学習カリキュラム	18/20	初学者向け「一発ストレート合格パーフェクトコース」から中上級者向け「上級スタンダード/パーフェクトコース」まで幅広く展開。「セーフティコース」は1年目不合格時に追加費用なしで2年目最新カリキュラムを受講でき、合格時は未受講分が全額返金される独自設計。
(3) 受講料 (コスバ)	14/20	初学者向け一発ストレートパーフェクトコースは通常192,000円がキャンペーンで105,600円前後。セーフティコースは1年合格時に未受講分返金+お祝い金2万円+受験料サポート1.5万円で実質約7万円。教育訓練給付金対象コースも複数あり。
(4) 合格実績	16/20	クレ勝道場生(上級コース受講生)限定の合格率は令和7年度26.2%(130名受験中34名合格)。全体の合格者数は令和6年度で200名以上。全受講生ベースの合格率は非公表。
(5) サポート体制	19/20	全コースで質問無制限が最大の特徴。フォローアップ質問会(全8回)、学習の進め方セミナーも開催。上級パーフェクトコースにはハイレベル答練16回が含まれ添削・フィードバック機能も充実。セーフティコースでは翌年度の継続受講が追加費用なしで可能。
総合	84/100	質問無制限とセーフティコースの2年安心受講体制は、学習ベースに不安のある受験生にとって大きな安心材料。受講料はキャンペーン活用が前提となる点に留意が必要だが、サポート面では全17社中トップクラス。

6位: 資格の大原 (総合 81点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	18/20	科目別10分冊のオリジナルテキスト、択一式・選択式トレーニング問題集、過去本試験問題集、法改正まとめテキスト、横断テキスト、全国統一公開模擬試験など教材ラインナップが非常に充実。「社労士24」は金沢博憲講師による24時間圧縮インプット講座で効率重視の受験生から高い支持。
(2) 学習カリキュラム	17/20	通信(WEB/DVD/資料通信)・通学(教室/映像通学)を自由に選択・併用でき、通信生が教室聴講や自習室を無料利用可能な柔軟な相互乗り入れ体制が強い。初学者向けから経験者向け・短期集中の速修コースまで幅広く展開。
(3) 受講料 (コスバ)	11/20	社労士24が79,800円(WEB通信)と手頃な一方、合格コース200,000円やinアドバンス16は265,000円(DVD通信)まで幅広い価格帯。初回入学金6,000円が別途必要。再受講割引30%OFF、本試験経験者割引20%OFF等の豊富な割引制度あり。教育訓練給付金対象、リスニング補助金にも対応(大原キャリアスタッフ経由)。
(4) 合格実績	17/20	2024年度(第56回試験)の合格者数は689名で全国合格者2,974名のうち約23.2%を占める。4年連続で全国合格者数トップを達成。ただし合格率(大原受講生ベース)は非公表で合格者数のみの公表。
(5) サポート体制	18/20	オンライン質問フォーム「Mobile-O-hara」での質問(社労士24は10回、合格コースは30回)、確認テスト・中間テスト・模擬試験の添削・成績フィードバック、全国各校の自習室無料利用(通信生含む)、教室聴講制度など通信生でも通学生並みのサポート。
総合	81/100	4年連続全国合格者数トップ(689名)の圧倒的な実績と、通信生でも自習室・教室聴講を利用できる柔軟な体制が強い。社労士24は79,800円と手頃だが、上位コースは20万円超と価格帯に幅がある点は検討材料。

7位: LEC東京リーガルマインド (総合 78点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	18/20	改正法2年分を掲載したオリジナルテキスト、択一・選択式問題集、実戦答練、模試を提供。梶島克彦、澤井、山下、工藤など複数の人気講師が在籍し講師別クラスを選択可能。「合格のトリセツ講座」(60,000円)など単科講座も充実。
(2) 学習カリキュラム	18/20	合格コース、スピードマスター合格コース(全53回)、基礎+合格コース(全95回)、中上級コース、工藤プロジェクトSwing-byセミナーなど多彩なコース構成。通学講義をZoomでリアルタイム配信し通信生も参加可能な「通学・通信オールフリー」制度で柔軟な学習を実現。
(3) 受講料(コスバ)	11/20	スピードマスター合格コースが152,000円(Web通信)、合格コースが225,000円、基礎+合格コースが245,000円。他校乗換30%OFF、再受講35%OFF、退職者応援20%OFFなど豊富な割引制度あり。教育訓練給付金対象クラスが複数コースに設定。
(4) 合格実績	13/20	合格率・合格者数ともに非公表。大手予備校の中では珍しく合格実績を公開しない方針をとっている。複数の第三者サイトでも非公表と確認されている。
(5) サポート体制	18/20	電話・メール・Zoomによる質問対応、Zoomライブ配信による通学講義のリアルタイム受講、オンラインホームルーム、全日本社労士公開模試(全3回)+ファイナル模試を提供。合格後の「合格者クラブ」による継続サポート(法改正情報・実務支援)もあり。
総合	78/100	多彩なコース構成とZoom配信のオールフリー制度は評価できるが、合格実績を一切公表していない点は受験生の判断材料を欠く。受講料も15万~24万円台と高めで、コスバ面では上位校に見劣りする。

8位: TAC (総合 76点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	17/20	オリジナルテキスト、科目別問題集、答練、法改正対策テキスト、全国公開模試など体系的な教材体系。総合本科生Wideでは週1回のZoomライブ授業が付いており双方向のリアルタイム授業を受けられる。講師動画レターによる学習アドバイス配信もあり。
(2) 学習カリキュラム	17/20	スマートWeb本科生(132,000円・コンパクト設計)から1.5年本科生(308,000円・じっくり学習)まで学習期間・深度に応じた幅広いコースラインナップ。上級演習本科生(154,000円)は学習経験者向け、答練本科生は直前期演習特化と細かい設計。
(3) 受講料(コスバ)	9/20	スマートWeb本科生132,000円から総合本科生Wide+Plus 352,000円まで幅広い。入会金10,000円が別途必要。早割キャンペーン(最大44,000円OFF)、再受講割引30%OFF、他校乗換割引20%OFF等あり。教育訓練給付金対象コースあり。
(4) 合格実績	17/20	2024年度(第56回試験)の本科生合格率41.1%、合格者数246名。累計合格者数は2011年~2024年で5,785名。ただし「本科生合格率」は答練・模試提出率90%以上等の修了者が母数であり全受講生ベースではない点に注意。
(5) サポート体制	16/20	質問メール60回(コースによる)、Zoomオンラインホームルーム(リアルタイム質疑・学習相談)、オンライン自習室、講師動画レター、全国公開模試・各種答練の採点・成績表フィードバック。無料体験受講でWeb講義を事前確認可能。
総合	76/100	本科生合格率41.1%は数値上は高いが、修了者限定の算出基準であり全受講生ベースではない。教材・カリキュラムは老舗予備校として安定しているが、受講料(入会金含む)の高さがネック。

9位: 伊藤塾 (総合 72点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	16/20	司法試験予備校として定評のある伊藤塾がそのノウハウを活かして展開する社労士講座。オリジナルテキスト、問題集、Web講義動画を提供し、佐野哲郎、持田裕、齊藤英男、渡辺千明ら複数の講師が担当。問題演習アプリ「It's D」でスキマ時間学習にも対応。
(2) 学習カリキュラム	14/20	本科生コース(198,000円)を中心に労働系対策セット(約102,900円)・社会保険系対策セット(約88,900円)など科目別単科セットも用意。WEB通信のみの提供で通学コースはない。科目別対策講座で苦手分野を集中的に強化できる柔軟な設計。
(3) 受講料(コスバ)	13/20	本科生コースは通常198,000円だがウィンターキャンペーン20%OFF(158,400円)や再受講割引40%OFFなど割引が手厚い。合格時には受講料全額返金制度があり実質負担をゼロにできる可能性あり。教育訓練給付金・リスキング補助金はいずれも対象外。
(4) 合格実績	12/20	合格率・合格者数ともに非公表。伊藤塾は司法試験・予備試験・司法書士・行政書士での合格実績は公表しているが社労士講座に関しては公式に実績を公表していない。
(5) サポート体制	17/20	講師・合格者スタッフによる質問制度(原則1週間以内に回答)、毎月1回利用可能なカウンセリング制度(追加料金不要)で学習相談・受験戦略相談が可能。Web講義は倍速再生等の機能を備え問題演習アプリでスマホ学習にも対応。
総合	72/100	司法試験のノウハウを活かした指導力とカウンセリング制度は独自の強みだが、社労士講座としての合格実績が非公表で説得力に欠ける。教育訓練給付金も対象外のため、費用面でのメリットは合格時全額返金に依存する。

10位: キャリカレ (総合 69点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	15/20	テキスト10冊・過去問題集8冊(過去20年分)・添削問題集8冊という豊富な教材量が特徴。20年分の出題傾向を分析し合格に必要な範囲を絞込んだコンパクトカリキュラム。北村庄吾講師(社労士)が担当し映像講義は24時間いつでもスマホ・PCで視聴可能。
(2) 学習カリキュラム	12/20	A/B/Cコースの3種類があるが違いはサポート期限のみで教材内容・返金保証は全コース共通。最短6ヶ月設計(学習時間目安約600時間)で通信講座のみの提供。シンプルな構成で迷いにくい設計だがコースの幅や柔軟性は限定的。
(3) 受講料(コスバ)	17/20	Bコースはキャンペーン価格39,800円と非常に手頃。不合格時の全額返金保証と合格時の2講座目無料特典が全コースに付帯しておりコストパフォーマンスの面でリスクが低い。教育訓練給付金・リスキング補助金はいずれも対象外。

評価項目	スコア	評価根拠
(4) 合格実績	9/20	合格率・合格者数ともに非公表。公式では「全国平均合格率の2.2倍」と案内しているが根拠となる具体的な数値は非公表で検証不可能。
(5) サポート体制	16/20	質問回数無制限(サポート期間内)で添削問題は全問対応。全額返金保証の条件として添削問題の全修了(平均得点率70%以上)が求められるため添削を活用した着実な学習が制度的に促される構造。
総合	69/100	不合格全額返金保証と合格時2講座目無料のダブル特典は魅力的だが、合格実績は「全国平均の2.2倍」という検証不可能な相対指標のみ。カリキュラムもA/B/Cコースの違いがサポート期限だけで実質的な選択肢がなく、講座設計の深みに欠ける。

11位: ヒューマンアカデミー (総合 66点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	15/20	クレアルとの提携通信講座として運営されておりデジタル教材中心の構成。約192時間の講義動画(最大2倍速対応)を提供し講義資料・音声のダウンロードが可能。学習アプリ「assist」を通じた質問対応も用意されているがクレアル本体講座と比較して独自性は限定的。
(2) 学習カリキュラム	12/20	「社労士(安心合格)講座」の単一コース構成で約12ヶ月の学習期間。コース選択の必要がなくシンプルだがレベル別・目的別の選択肢はない。受講期間は申請により1年間の無料延長が可能で最大2年間の学習が可能。
(3) 受講料(コスバ)	10/20	250,800円(税込)と社労士通信講座の中では高額な部類。分割払いは可能だがLINE友達追加クーポン5%OFFを除き大きな割引がない。教育訓練給付金・リスニング補助金ともに対象外(情報源間で矛盾あり要確認)。
(4) 合格実績	12/20	第三者サイトでは合格率35.82%、合格者数224名との情報があるが公式ページでの直接確認ができておらず年度・算出方法も不明。信頼度は要確認。
(5) サポート体制	17/20	質問回数無制限(学習アプリ「assist」経由)で受講期間延長(最大2年)にも対応。ヒューマングループの就転職サポートが利用できる点は他社にない独自のメリット。
総合	66/100	250,800円と高額でありながらクレアル提携のため独自性が薄く、同等の教材をクレアル本体で受講した方がコスバが良い。合格実績の公式確認が取れず、価格に見合う付加価値を示せていない。

12位: 山川靖樹の社労士予備校 (総合 64点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	12/20	山川靖樹講師が全講義を担当し約225時間(全121回分)の講義を提供。PDFベーステキスト(オプションで紙製本購入可能、全10冊1,800ページ)とクラウド環境での動画配信で学習する形式。月額制で全講座が見放題。
(2) 学習カリキュラム	14/20	月額4,400円のサブスクリプション型で基礎講義(INPUT編)・演習(OUTPUT編)・山川答練(全16回)・ピンクマーク答練・改正法マスター講座・白書完全マスター講座・選択式対策講座など全講座にアクセス可能。DVD+テキスト一括購入やフルセットも選択可。
(3) 受講料(コスバ)	18/20	月額4,400円は業界最安水準のサブスクリプション型。12ヶ月利用しても52,800円と極めて低価格。合格返金制度(試験月翌月~合格発表月の月額費用返金)もあり合格した場合の実質負担はさらに軽減。教育訓練給付金・リスニング補助金はいずれも対象外。
(4) 合格実績	9/20	合格率は非公表。累計合格者数は1期生~15期生で918名以上。年度別内訳は不明だが小規模スクールとしては一定の実績を積み上げている。
(5) サポート体制	11/20	「質問広場」への無制限質問とヤマゼミzoom!(Zoomオンライン勉強会)による双方向学習が特徴。月額制継続中はサポートを無制限に利用可能。過去問題10年網羅ダウンロードやひっかけ問題対策300選など月額制専用コンテンツも充実しているが添削制度は確認されていない。
総合	64/100	月額4,400円のサブスクリプション型は価格面で圧倒的な強みだが、PDFベーステキストや個人運営ゆえの添削制度不在など、大手と比較して教材・サポートの質に明確な差がある。合格実績も累計918名(年度別内訳不明)と透明性に課題。

13位: 辰巳法律研究所 (総合 62点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	15/20	「佐藤塾」ブランドで展開され佐藤としみ講師が全講座を一人で担当する一貫した指導体制が特徴。「プレミアムテキスト」は合格に必要な知識を網羅した合理的設計で横断的な知識整理が可能。社労士過去10年分問題集・トレーニングノート(穴埋め演習形式)など副教材も充実。
(2) 学習カリキュラム	16/20	フルバック☆プラス(最上位)→フルバック→レクチャーパック(基礎講義のみ)→科目別セットの4段階構成。通学(東京本校・高田馬場)・通信Web・通信DVD・通信Web+DVDの4つの学習スタイルから選択可能。「直前出題予想+横断整理」セミナーなど単発イベントも充実。
(3) 受講料(コスバ)	9/20	フルバック☆プラス(通信Web)が255,800円、フルバック(通信Web)が214,800円、レクチャーパック(通信Web)が168,000円。受験経験者価格(約12~13%割引)や過去パック生価格(約18~19%割引)はあるが基本価格は高額帯。教育訓練給付金対象コースあり。
(4) 合格実績	8/20	合格率・合格者数ともに非公表。「多くの合格者を輩出」との記載があるが具体的な数値は公開されていない。毎年「本試験大分析会」を開催し合格ライン予想の精度に定評がある。
(5) サポート体制	14/20	「質問カード」制度(書面で質問提出、約2週間で文書回答)およびメールでの質問が可能。外部情報によると質問回数はフルバック☆プラス12回、フルバック8回、レクチャーパック5回。Web成績分析診断サービスや無料体験受講制度もあり。
総合	62/100	佐藤としみ講師の一貫指導と体系的なコース構成は一定の評価に値するが、受講料が16万~25万円台と高額にもかかわらず合格実績が完全非公表。質問回数も5~12回と限定的で、費用対効果の面で上位校との差が大きい。

14位: 大栄 (総合 60点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	14/20	独自の「Skip学習法」(Hop/Step/Jump/Attack5の段階的学習)を採用し全体像把握→約5分単位のポイント学習→応用問題→練習問題・模擬試験と段階的に力をつける設計。eラーニング対応でPC・スマホ・タブレットで学習可能だが教材の具体的な内容は資料請求・無料体験での確認が主。
(2) 学習カリキュラム	14/20	社労士Skip講座を中心に通学・Web通信・併用の全スタイルに対応。全国70校以上の校舎ネットワークを持ち通学受講の選択肢が豊富。受講期間は12ヶ月(標準カリキュラム)。模擬試験は全6回実施。
(3) 受講料 (コスバ)	8/20	入学金22,000円を含めた総額は約256,728円～281,380円と高額帯。入学金全額OFFキャンペーンの実施情報あり。教育訓練給付金対象(一般/特定一般教育訓練)で特定一般教育訓練では最大40～50%の給付を受けられる点が特筆される。
(4) 合格実績	7/20	合格率・合格者数ともに非公表。公式サイト・複数の第三者サイトが一致して非公表と記載しており実績データでの比較はできない。
(5) サポート体制	17/20	専任のキャリアナビゲーターによる学習・キャリア相談(常時対応)と専門講師による1対1質問対応(オンライン・通学両対応)が特徴。個別サポートの手厚さは通信特化型スクールにはない強み。模擬試験全6回、学習コミュニティでの情報共有も可能。
総合	60/100	キャリアナビゲーターによる個別サポートは通信特化型にない強みだが、25万円超の高額受講料と合格実績完全非公表の組み合わせは、受験生にとって投資判断が極めて難しい。特定一般教育訓練給付金で最大40～50%の給付を受けられる点のみが価格面の救い。

15位: 日本マンパワー (総合 58点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	12/20	大原学園グループとの提携講座であり教材・カリキュラムは資格の大原と同等の品質。標準コースはテキスト10冊+法改正まとめ+白書まとめ+過去本試験問題集で構成。「パスル社労士24」は資格の大原の人気講座「社労士24」と同内容の24時間動画講義を提供。
(2) 学習カリキュラム	11/20	標準コース(受講期間8ヶ月)とパスル社労士24(受講期間9ヶ月)の2コース構成。標準コースはテキスト中心+Web講義+オンラインテスト7回、パスル社労士24は24時間の動画講義+添削2回。シンプルなコース構成だがコースの幅は限定的。
(3) 受講料 (コスバ)	18/20	標準コース39,820円(税込)は社労士通信講座の中でも非常に安価。パスル社労士24でも75,900円と手厚。ただし教育訓練給付金・リスキング補助金はいずれも対象外。
(4) 合格実績	9/20	合格率・合格者数ともに非公表。公式サイト・外部比較サイトともに日本マンパワー独自の合格実績データは掲載されていない。提携先の大原学園グループとしての合格実績は別途公表。
(5) サポート体制	8/20	質問は郵送提出による質問用紙で最大10回まで。添削は標準コースでオンラインテスト7回、パスル社労士24で2回。サポート体制はやや限定的で質問回数制限(10回)は少なめ。サポート期間も8～9ヶ月と短い。
総合	58/100	大原提携で教材品質は確保されているが、質問10回・添削なし・サポート期間8～9ヶ月と通信講座としてのサポートが極めて貧弱。安価な標準コース(39,820円)は魅力的だが、学習の自走力がない受験生には不向き。

16位: ゼミネット (総合 56点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	11/20	映像中心の学習体系で紙テキストは提供されない。1コンテンツあたり10～20分単位の動画講義で総講義時間は約84～86時間。過去問研究に基づく講義設計が特徴で全科目をバランスよくカバー。ただし教材は動画のみでテキスト・問題集がないため別途参考書等の準備が必要。
(2) 学習カリキュラム	10/20	2ヶ月・6ヶ月・12ヶ月の3コースがあるがコンテンツは共通で期間のみが異なるシンプルな設計。法改正に随時対応したカリキュラムで「得意科目より、まず苦手科目の克服」をモットーとした全科目バランス重視のアプローチ。
(3) 受講料 (コスバ)	19/20	12ヶ月コース20,000円、6ヶ月コース12,000円、2ヶ月コース5,000円と業界最安水準の価格設定。コストを極力抑えて学習したい受験生にとっては最も手頃な選択肢。合格特典・返金保証はなく教育訓練給付金・リスキング補助金も対象外。
(4) 合格実績	8/20	合格率・合格者数ともに非公表。過去問研究に基づく講義設計を特徴としているが実績数値は一切公開されていない。
(5) サポート体制	8/20	サポート体制の詳細は限定的。外部情報からは過去問研究・重要事項指摘が主な特徴の独学支援型ネット講座であり質問回数・添削回数の情報もない。24時間いつでも学習コンテンツにアクセス可能だが手厚い個別サポートは期待できない。
総合	56/100	12ヶ月20,000円の低価格は目を引くが、テキストなし・サポートなし・合格実績非公表と講座としての完成度が低い。映像講義のみで問題演習や添削がなく、これ単体での合格は現実的ではない。独学の補助教材として割り切る使い方が前提。

17位: オンスク.JP (総合 54点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	10/20	TAC関連会社が運営する月額定額制のオンライン学習サービスで社労士講座は「入門編」として全107回・約15時間の講義動画と全402問の練習問題を提供。担当講師は現役特定社労士の金本絵美。入門編のため合格に必要な全範囲をカバーするものではない可能性がある。
(2) 学習カリキュラム	9/20	月額制のウケホーダイプランで60講座以上が学び放題。社労士以外の資格も並行して学習できるメリットがある一方、社労士講座単体としては約15時間と講義量が限定的。入門レベルの内容であり合格には他の教材との併用が想定される。
(3) 受講料 (コスバ)	20/20	ライトプラン月額1,078円、スタンダードプラン月額1,628円、一括パック(12ヶ月)15,400円と業界最安水準。初期費用・入会金なしでいつでも解約可能。60講座以上が学び放題のため複数資格の学習を検討している人にはコスバが極めて高い。
(4) 合格実績	8/20	合格率・合格者数ともに非公表。外部口コミでも「オンスクのみでの合格は難しい可能性がある」との指摘があり入門編講座の位置づけから合格者数の公表を前提とした設計ではない。

評価項目	スコア	評価根拠
(5) サポート体制	7/20	質問制度なし。添削もなし。復習機能(間違えた問題の解き直し)、キーワード検索、「みんなの学習ノート」(受講者間の情報共有)といった自学自習支援ツールはあるが講師やスタッフによる個別対応は基本的に提供されていない。
総合	54/100	月額1,078円からの圧倒的な低価格と60講座学び放題はサブスク学習サービスとしては優秀だが、社労士講座は入門編(約15時間)に留まり合格に必要な網羅性がない。質問制度・添削も皆無で、社労士試験対策の主軸とすることは推奨できない。

6. 各評価項目の講座間比較サマリー

(1) 教材・講義の質 トップ3

- アガルート (20/20): フルカラーテキスト+映像講義、本試験出題カバー率90%超、スパイラル学習設計
- スタディング (20/20): 完全オンライン型、AI実カスコア・AI問題復習等の先進AI機能を標準装備、5分単位の短時間講義
- フォーサイト (20/20): 脳科学に基づいたフルカラーテキスト、特許取得eラーニングシステム、合格点主義の効率設計

(2) 学習カリキュラム トップ3

- アガルート (20/20): 3段階x2グレードの細分化されたコース構成、複数年度目標対応、受験生レベルに応じた柔軟な選択
- スタディング (19/20): ミニマム・レギュラー・フルの3段階構成、複数年度コース、再受講者向け更新版あり
- クレアール (18/20): 初学者〜中上級者まで幅広いコース、セーフティコースによる2年間安心受講体制
- LEC東京リーガルマインド (18/20): 多彩なコース構成、Zoom配信の通学・通信オールフリー制度

(3) 受講料・コスト トップ3

- オンスク.JP (20/20): 月額1,078円〜、一括バック15,400円と業界最安水準、60講座以上学び放題
- ゼミネット (19/20): 12ヶ月コース20,000円、6ヶ月12,000円、2ヶ月5,000円と極めて低価格
- スタディング (19/20): ミニマム46,800円からの業界最安水準、再受講時24,800円〜のリピーター割引

(4) 合格実績 トップ3

- アガルート (20/20): 合格率29.45%(全国平均の約5.38倍)、合格者91名、前年比126%成長
- スタディング (20/20): 合格率30.00%(全国平均の5.45倍)、合格者353名、模試50%以上受講生は合格率52.42%
- フォーサイト (19/20): 合格率27.70%(全国平均の約4.01倍)、自社アンケート集計に基づく公表値

(5) サポート体制 トップ3

- アガルート (20/20): KIKERUKUN質問50回、バーチャル校舎、ホームルーム動画、TOKERUKUN演習システム
- クレアール (19/20): 質問無制限、フォローアップ質問会全8回、セーフティコースの翌年度継続受講
- フォーサイト (18/20): バリューセットで質問無制限、個別カウンセリング、eライブスタディ双方向授業
- ユーキャン (18/20): 添削11回、質問サービス、WEB学習システム、法改正随時提供、学習期限延長
- 資格の大原 (18/20): 自習室無料利用(通信生含む)、教室聴講制度、質問10〜30回
- LEC東京リーガルマインド (18/20): 電話・メール・Zoom質問、オンラインホームルーム、合格者クラブ

7. 免責事項

- 本ガイドラインに記載の受講料・サービス内容・合格実績等は、各講座の公式サイト・公式発表資料を元に2026年2月時点で確認した情報に基づいています。最新情報については各講座の公式サイトをご確認ください
- 合格率の算出方法(分母の定義)は講座により異なります。数値の単純比較には注意が必要です
- 教育訓練給付金・リスクリング補助金の対象可否は、コース・受講時期・個人の受給要件により異なります。詳細はハローワークまたは各講座にお問い合わせください
- キャンペーン価格・割引制度は時期により変更される場合があります
- 本評価は記事執筆時点の公開情報に基づく独自評価であり、各講座の品質を保証するものではありません